



城南坂

校長だより No.10
R7. 5. 21(水)
校長：佐々木雄治

学校教育目標 「志と誇りをもち 主体的に行動する生徒の育成」

フォロワーシップ

先週末は、本校敷地すぐ近くにクマの出没情報があり、保護者の皆様には急な連絡であったにもかかわらず、生徒を迎えに来ていただき対応をしていただき、ありがとうございました。改めて、我々の生活圏内にはクマがいるということ認識した上で、熊よけ鈴を鳴らしながらの登下校を徹底することや、万が一クマに遭遇してしまった際の対応を頭に入れておくことなど、自分の身を自分で守れるようにしっかり準備する必要性を感じさせられました。

さて、昨日前期生徒総会が行われました。開会にあたり、生徒会長から全校生徒への熱いメッセージが語られたのち、生徒会執行部や各種委員会からよりよい城南中学校を目指すためのさまざまな活動が提案されました。学級討議を経て出された質問や提案に対しても丁寧な説明がなされ、全校生徒が一堂に会する中、議案はすべて承認されました。今日からは「愛される城南中学校」の姿を具現化するためにフォロワーである城南中生全員がリーダーの声や行動に対して前向きに反応してこれらの活動内容を実践することにより、リーダーを支えながら一体感のある城南中生徒会を築き上げることが大切です。



リーダーにリーダーシップが求められるように、フォロワーにもフォロワーシップが必要だという考えを提唱している人がいます。アメリカの大学で教授を務めるロバート・ケリー氏によるフォロワーシップ理論というもので、もともとは会社等の組織における「部下が上司を支援するチカラ」について考えられた内容です。それによると「組織の成功はフォロワーが8割を握っている」とされており、私もまったくその通りだなと共感しています。フォロワーシップ理論というとなかなか難しそうな印象を受けますが、ケリー氏は理想のフォロワーになるためにはたった2つの力を高めるとよいと言っています。

- ①問題があれば、我慢せず提言する
- ②言うだけでなく、自ら率先して動く

それぞれキーワードにすると①は「批判的思考」、②は「積極的関与」となります。理想のフォロワーは、リーダーの意見や発言に対し主体的に考え、正しいと感じたら、積極的かつ協力的に取り組みます。また課題を感じて批判や提言をする際も、その理由を明確にして建設的に意見を述べます。今日の生徒総会での質問や意見は、この①の批判的思考の考えに基づいた、建設的な議論を促進するものであったと感じています。そして生徒総会を終えた今日からは、一人一人がリーダーの言葉に対し②の積極的関与の姿勢で、全校が一体となった活動を展開することを期待します。城南中生一人一人が良きフォロワーになるためのスキルや価値観について、私から以下の3つアドバイスをしますので、ぜひ実践してみてください。

- (1) 自分の活動に付加価値を生み出す
 - ・学校のため、みんなのために行動しよう
 - ・係や委員の人が忙しそう（または休んでいる）から代わりにやろう
 - ・よりよい成果を得るためにちょっと工夫してみようという考え方で積極的に関与してみる。

- (2) 活動組織内での人間関係を育む
 - ・やろうとすることを事前に周囲に伝え、協力を仰ぐ
 - ・味方を増やし、協力の輪を広げる
 - ・リーダーの話に理解を深め、協力するというように相手意識をもって行動する。

- (3) 勇気ある良心をもつ
間違った対応や誤った行動には、「No」と言える良心をもち、常に正しい方向へ向かっていく姿勢を大切にします。

また、生徒総会後に昨年度末から協議されてきた、髪型や服装に係る校則の一部見直しについて報告がありました。校則のようなルールは学校にいる間だけでなく、大人になっても、法律などの社会のルールがあったり、会社などで業務上必要なルールが厳格に定められたりしています。ルールは人間が集団を形成する際に、全員が安全かつ安心して気持ちよく過ごすために必要なものであり、どんな集団で過ごすかによってその内容も変わってきます。大切なのは「時、場所、場合に応じた適切な判断をすること」と「自分にとって都合のいいことではなく、全員が安全に安心して過ごせること」であるという認識をしっかりともち、みんなが居心地のよい学校にしていくことだと思います。